

平成30年7月17日  
九州電力株式会社平成30年度供給計画において電源の「廃止」および「計画停止」の計画を変更しました  
— 4発電所、7ユニットの計画を見直し —

当社は、玄海原子力発電所3，4号機の再稼働に伴い、本日、発電・小売の供給計画※変更届出書を電力広域的運営推進機関（広域機関）に提出しました。

今回の届出において、電源の「廃止」および「計画停止」の計画を以下のとおり見直しましたので、お知らせします。

※ 今後10年間の電力需給見通しならびに電源開発等についての計画であり、電気事業法の規定に基づき、広域機関を経由して経済産業大臣に届け出るもの

## 〔廃止〕

設備	発電所およびユニット	出力	廃止時期
火力(重原油)	相浦1，2号	87.5万 kW	H31年4月 【H30年度】
	豊前1号	50万 kW	H31年度 【H32年度～計画停止】

## 〔計画停止〕

設備	発電所およびユニット	出力	期間
火力(重原油)	豊前2号	50万 kW	H30年度～ 【H32年度～】
	川内1，2号	100万 kW	H30年度～ 【 — 】
火力(LNG)	新小倉4号	60万 kW	H32年度～ 【 — 】

(注) 【 】は昨年度計画

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。